済生会川内病院 広報にじ

 $vol.\, 57$

2021/12 TAKE FREE



Contents

- 02 Special Feature アメリカ留学報告
- 05 わたしのおしごと がん病態栄養専門管理栄養士
- 06 新任Dr.紹介・ちょっと教えて!・元気のモト
- 07 信頼と連携の輪
- 08 院長メッセージ



Special Feature

My days in America

アメリカ留学報告

貴島 孝

Takashi Kijima 外科·消化器外科部長

世界中の人々がコロナ禍におかれた2020年。各国で非常事態宣言や外出禁止令が発令される中、ニューヨークで研究生活を送っていた日本人医師がいました。当院の外科・消化器外科部長貴島医師です。今回はその貴重な留学体験をレポート頂きましたのでご紹介します。



年後半 たことや、 島孝と申 ŋ ていただきます。 アメリカで基礎研究者とし 一学しており、 外 の経験 8 済生会川内病院外科 ŧ ·から2020年4月 科 i ニューヨークでのコ ます。 て。 て勤 につい 2 0 2 1 務 そ 私 してい $\overline{}$ は20 の)際経験 お 話 年 1 る 4 2 7 書 丰 消 月

フ

1

半より、

研 状

究

腺

外

鹿

児

Section States

ペンシルベニア大学 1765年に設立された、アメリカで最も歴史の古い Medical school

でき メリ ありー 授の n 丰 人と日本人は同じアジア というメンバ とアメリカ人1名、 が印象的 0 t L 皆とても親切で優 下、) た 研 ました。 カ国内を旅行し、 雄 緒に オン 大さに 多くの優秀なインド人 究 ンなどア でした。 室は 頑張ろうと励 ŧ ・でした。 触 インド人 、メリ n 休 日本人1名 ることが グランド 睱 しかった 力 には インド 人で の自 ま の ア 7 教

_ 그 2 0 = 1 9 クに研究室を異 年 7 月 か 5 は 動

り越えつつ、 学させて頂くことに ら過ごすことができました。 的な生活を家族で楽しみ に苦渋し、 ア大学に 新たな環境での生活や アに 生活を経て20 科に入局 島 アメリ 基礎研 ある、 大学 様 異 々なトラブル 消 カの 国 後、 ペンシル 究者と I の 地 化 フィ 大学院で 1 7 な での ŋ \cup 乳 刺刺 て 留 な 仕 ま 年 腺 を 所 が 激 乗 事 甲

た。



研究室の友人たちと

ンに C ク 研 できるよ 抗 検 あ 3 主 新 す 2 0 ~ 究 が 次元培 一な研 ることとなり、 \mathcal{O} 体 Ď たなスター 6 : を 培 あるコロンビア大学に 実 の (1 個 剤 験 究テ 9 生 な うに 治療 養に 年 も Q 活 ŋ 養 の 12 順 ŧ (Ų 患 つい 調 す。 な 薬 月、 も abla· を切 る 1 を 者 最 慣 は <u>ー</u>ュ ablaため ての 様 中 進 迅 ŧ n ŋ 速 シハ 玉 効 0 食 6 まし でコ 癌 でい 研 道 果 研 0 (究 組 究 癌 ツ 判 \exists 基 的 礎 7 た 室 断 織 夕 な \overline{C} 0

とす

Ś 出さ

案や、

ア

X

ij

在

0

師

の

臨

床

場 力 追

(1

n

聚

急

の

ナ

棟

飛

び 招 国

> 集 人

案 医

な

様

Q 現

が

交いま

U

た。

番 な

問 情

題 報 の 住 病 なり され は外 月 13 があ 棟の きま 徐々 いた 化 事 料 を見 レ \mathcal{O} 事 スの 頃 態 が が か 0) カで 地 から 宣 した。 ま ŧ 出 日トランプ大 な り マスクや手袋 に不穏な クでも ょ た 発 地 人が多 禁止 三言を うに L 下 < 3 の 生した 下 徐 た。 · 鉄 は ナ た。 街 な を は2020年2 月 々に 大学 鉄 最 は \mathcal{O} 令が発令さ 発 Ŋ 覚 感じていま 1 初 大学の 感染 雰囲 遠 \mathcal{O} 通 治 始 く居座 令 えていま 日に の症 車 勤 食料 病 (1 安は急 め (,1 院 うニュ 3 I 気 が 世 内 統 の C, の ŧ 例が はニュ 学 は 使 月 品 から 界 提 るよう リスクと 領 22 漂 生 用 谏 店 の 木 が 供 た。 す。 n U 発生、 研 非 依 出 寮 に 月 (つ た。 究 7 悪 1 常 食 来 Δ $\overline{}$ そ 3 頼 ア ス

なり、 ジア なっ \Box たこともあり、 肌 のニュー の結果、 大学 児島 た。 本 で感じることとなりまし (た 、人に対するヘイトの (帰 自分自身も治安の悪化 帰 の 帰 の 大学の上司やコロンド 夏には帰国予定であ 国後は 'n は治安の悪化です。 研究室の上司と相 国することとなり スをよく見るように 現 在 2020年4 隔離を終え鹿 に至ります。 増 た ŧ À 談 加 ァ



コロナ禍でのニューヨーク 5th avenue の景色 (2020年4月)

うな出 ンの 0 や車を含めなにもいなくなっ ような最も人気の通りさえ、 は多くの観光客で先が見えな はとても印象的でした。 この 5th avenueという、 平事 数 が月は であり、 まるで映画 マンハッタ 普 0 人 た (1 段 t

から高 いこうと努力する人がたく じたことは、 ん集まっていたことです。 ア メリ い志を持ち、 メリカでの カでの 日本も含め世界中 留学で強く感 永住権 上がって 多様 を獲

コロンビア大学の研究室から見たマンハッタンの景色 لح 政 側 ŋ できたことも大きな経 た 重 な (1 ま \mathcal{O} 府、 ました。 う国を客観 な価値 面 Ĺ 重 触 価 た。 要性 を感じ れ合うことで、 値 ア 他 各自治体 観 ノメリ 世界 人と比較 や、 観を学ぶことが や また、 まし 様 多 力社会 からみた日 的 Q 1 様性と が迅速 た。 な 知ることが U 人 の ア な 個 種 ナ 様 ァ を 経 験とな X ((1 性 (1 0) 本と う新 こと Q C を 人

_ _ | Ŋ てい 事 地 持 路 間 ました。 備 対 富 L やべ 種 され 域 0 けった込めて盛大 ,を終え病院 する規制がとても素早く に 財 感 合わ 間でコロナの死亡率も は 差、 たのはとても印象的 動 政 たの . ∃ | ランダに ŧ 人種の問 面 Ą た、 ました。 ナの での は クでも治安の悪 街 から出 すごいなと感 矢 感染が蔓延 出 支援や の人たち 療従 題は て感謝 ん お 拍 上事者が てくる か 根 手を 外 強 が 出 対 ij C 0 道 仕 整 応 カ 貧 あ 気 (

> な て実感しまし つ 日 7 本 (1 の治安の . る 0) を目 の当 良 さを改 一たり 1 8

尊 Ą

方々 と思 てい 経 的 えるとても大きな 活をすることは、 感じて欲しいと思います。 (種 (あ 験 今後、世界がどの できな < 海 に りますが、 (1 価 外に出 は ŧ かはまだ不 値観 す。 機会があ (1 に触れ、 特に ζ, 多くのことを 異 様々な文化 国 若 透明 価 経 ように h 日本では 験 値 の (1 ば 世 観 地 1 な状況 積 代 Ċ な を な る 変 生 極 0 つ

験

な



グランドキャニオン

わたしのおしごと

がん病態栄養専門管理栄養士

江_したであるきこ

管理栄養士・江口さんです。 コーナー。第四回は、がん病態栄養専門 院内の様々なお仕事についてご紹介する



「栄養士」が2名在籍しています。食べる

江口 晶子

旅行の計画を立てる 事が好き。コロナ禍 でもう2年籠り中。万事良い方へ向かう ように願っています。

ことに関する問題やお悩みは千差万別で、 らのサポートとして「がん病態栄養専門管 患者様を支える各種専門がおり、栄養面 一人として同じケースはありません。医師

がん病態栄養専門管理栄養 全士に

携わっています。

のチーム医療に参画し皆様の栄養管理に 和ケア、嚥下(食事の飲み込み)訓練など 養をみています。また、栄養サポートや緩

つい て教えてください

|院は地域がん診療連携拠点病院として

う取り組んでいます。 べられない辛さを少しでも和らげられるよ や専門スタッフと共にその原因を考え、食

管理栄養士の仕事内容につい

て教え

てください。

どんな時ですか? お仕事でやりがいを感じるのは

なった時、笑顔で退院なさった時、一口で です。栄養相談をさせて頂いて結果が良く っこり嬉しくなります。 も食事を美味しく食べられた時、私達はほ 患者様のお役に立てたと感じられた時

ります。管理栄養士は、皆様の病状に合わ 広い患者様が来院されるという特徴があ ら外科系、お子様からご高齢の方まで、幅 後、妊娠時やお子様の病気など、内科系か

院されています。生活習慣病、手術

の前 通

当院には様々な病気の方がご入院

お願いします。

も、経管栄養(管から濃厚流動食を入れる) をサポートします。お口からの食事以外に 養素や食事形態をコントロールして治療 よう栄養相談を行い、医師の指示のもと栄 せたお食事を考え、体を良い状態に保てる

や静脈栄養(点滴)も考慮しつつ全体の栄

が口にする食事は、私達の体を、健康を作 理栄養士でありたいと思っています。私達 維持・改善を目指し、皆様に寄りそえる管 通して治療をサポートします。栄養状態の たいと思います。 を意識した食事についてもお伝えしていき っています。美味しいだけではなく、健康 管理栄養士は皆様にとって身近な食事を



け どういん ちひろ 美味しいものを探すこと 千寛

外科・消化器外科

医学生実習や初期研修でもお世 話になった済生会ですが、今度は 外科医として帰ってくることが できました。よろしくお願いしま



趣味/特特 映画鑑賞 漫画

ほなみ 萬浮 帆波

産婦人科

伊佐市出身です。川内での勤 務は初めてですが、川内の女性 の皆様のお役に立てるように 頑張りますのでよろしくお願 いします。







ゆう けい 侑慶 廣谷

職

員

お

声がけくださ

研修医

消化器内科、産婦人科、小児科と 3ヶ月間お世話になります。初めて の薩摩川内で慣れないことも多い と思いますが、この3ヶ月間で多く のことを学びたいと思います。よろ しくお願いします。



趣味/错货 温泉 松井 めぐり

Α

まゆ 外科・消化器外科

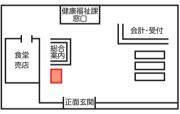
小さい頃から家族みんなでお 世話になっている済生会川内 病院で、今度は少しでも患者 さんのお役に立って、恩返し が出来ればと思います。よろ しくお願いいたします。





ち 7:

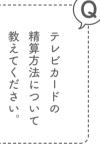
つ





テ 祝 17 ŋ F い 以 の 場 ŧ 時 精 機 の残りがある場合で 隣に2台 V 上 0 Ľ 可 合 間 算ボタンを押す。 械にカードを挿入 の 0 能 手順 カ の カ 40 Ī エ 時 ï 応じて返金 設 ۴ で進んでいただく ラー 蕳 ۴ 置 の 帯 が 精算 して メッ でご利 戻 0 あ 機 セー T できま りま は 用 きます。 ジ 1 可 す。 が出ましたら 能 階 ず。 ح で テ の 8 残りが す。 レ 公 度 0 ビ 衆 数 電 0 カ Θ 残 な 話









外科・消化器外科 部長 柳田先生

キノコ好きの私には エノキ豚が元気の源です。 エノキ、豚バラ薄切り、 料理酒です。味付けは ポン酢と一味唐辛子 のみで、週2は食べます





病理診断科 部長 畠中先生

好きなものが2つ -緒に食べられる カツカレーは 私にとって最高の 元気のモトです。

田介す オるコッフの 生 一です ŀ 笑 ナ 顔 ノー。 第四回 はえ 畠る 中 先品 生を

柳紹ス



信頼と連携の輪

地域医療を支える連携医療機関をご紹介します。



若松記念病院

昭和32年に若松外科医院としてスタートし、みなさんのかかりつけ医として健康診断や地域医療の充実に取り組んでいます。消化器内科、糖尿病内科以外にも脳外科、睡眠時無呼吸症、膠原病などの専門外来もあります。通所リハビリテーション、訪問看護、グループホームも有しており退院後の療養生活までを視野に入れた医療体制を作っています。人生の最終段階でご本人、ご家族が心穏やかに過ごせるように終末期療養や緩和ケアにも力を入れています。コロナ禍でも入院患者様とお話ができるようにビデオ面会も実施中です。また済生会川内病院と連携し感染対策防止に取り組んでいます。



院長 若松 大介 先生



若松記念病院

TEL: 0996-23-3291 〒895-0052 薩摩川内市神田町 11 番 20 号 http://www.wakamatsu-hp.jp/

- ■診療科目 外科・内科・胃腸科・肛門科・ リハビリテーション科・糖尿病内科・整形外科(非常勤)
- 診療受付時間

【月~金曜日】 8:30~17:30 【土曜日】 8:30~12:00

■休 診 日 土曜日午後·日曜日·祝祭日

具志ひふ科クリニック

当院は平成16年6月に皮膚科専門クリニックとして開院しました。一般皮膚科診療に加え、外来手術、光線療法、また副院長による漢方、美容外来等を行っています。ところで医学の分野は日々進化しており、皮膚科学も例外なく予防、診断、病態、治療と日々進歩しています。今までの疾患概念に加え、必要に応じて新しい医療・生活指導を提供できればと思います。時には基幹病院とも連携をとって、患者様のニーズに応えたいと思います。



院長 具志 売 先生



具志ひふ科クリニック

TEL: 0996-22-9412 〒895-0075 薩摩川内市東大小路町 45-3

- ■診療科目 皮膚科
- ■診療時間

【月~水·金曜】 午前 9:00~12:15

午後 15:00~18:00

【木曜】 午前 9:00~12:15

【土曜】 午前 9:00~12:15

午後 15:00~16:30

■休 診 日 木曜午後·日曜·祝日

共に乗り越え、その先の未来へ



国内で新型コロナウイルス感染が確認されてから、約2年が経過しました。 この間、当院をご利用下さる患者様、関係者の皆様には、検温や手指消毒、面会制限な どに対し、多大なるご協力を頂き、心から感謝申し上げます。また、同じく厳しい状況 下にあるにも関わらず、各方面から支援物資や差し入れなどの温かいお志も頂き、重 ねて感謝申し上げます。

変異株の出現などにより、コロナ禍の終息は依然見通せない状況ではありますが、地域の急性期病院として、平常診療とCovid-19への対応の両立に、全力を注いで参る所存です。来年も引き続き、変わらぬご理解とご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

院長嵜山敏男

niji 済生会川内病院広報誌 第57号2021年12月1日発行





